



磐陽論壇

燈を掲げて

臚 月生

十字街を行く現代人よ、右て目醒めねばならぬ、未だせんとするや。左せんとするの音楽に酔い操られてゐるや、政治に経済に科學に於ける者操る者と自覺者との争哲學に宗教に藝術に迷へに闢は社會に於て家庭に於て迷る現代人よ、吾人は何街路に於て日々明かに盛んをなすべきであらうか、吾である、これが現代社會の人は如何にせば價值ある生有様だ、見よ未だ現代社會生活をなし得るであらうか、は凡て覆はれてゐるではないか、我々は是の覆を通しし得るであらうか、吾人は等しく此の問題に苦しむるは吾人は單なる一個の吾人でないからである、吾人は吾人であると同時に家庭人であり社會人であるからである、我々は四圍を見ずして己が立脚地を知るを得ないと同様に現代の社會を思はずして自己を考へ得ないからである、現代社會を深く思ふとき吾人は何を認識するか、明言せしめよ、そして居るんだ、先づ此れをここに惡魔がある、傀儡師が居る、倦瞞の糸を以て吾人を操る傀儡師が居る、法制をばならぬ、そのあらゆる幕の中に倫理的色彩の服我々を盲目的状態に置かん装をした惡魔が音樂を奏しとすると倒して正しき社會なるものを見ずして用學者に退場を迫れ、再び間その音樂に調子を取らうして我々は自己の行動に正しく忠實であり得るであらうか、社會あつての自己は人間の行爲に無頓着であれば、再び言わしめよ、吾人は何を爲すべきか、

短歌

九條武子選

栗ひとつ落ちぬやありて又一つ武藏野の
原におたてておつ……
水雨降り可愛小鳥も巢に入りて
庭のさざん花さみしく咲きぬ
取落しおどろきみつ支那の子の蜜柑にそぐ
愛らしき瞳
風なきて船の來る日は歌うたひ
みたよりを待つ我は島の子
馬めさる御勇ましき大君のみすがた
おがみ涙ながるゝ

然して手段は何を擇ぶべきか
と歴史も藝術も科學も苟も研究價值あるものはその極地に於てこの問題を解決せねばならぬ、今日我々は社會に於て論壇に於て口に神を説き倫理を説く守銭好の宗教教育家に退場を命ずる第一の解決への一歩である、と同時に翻譯に巧なる經濟學者哲學者拜學者をも菲らなければならぬ、燈を高く、お、燈を高く掲げよ、我々は正しき認識に於ける學を高く掲げよ理論争闘な

取扱主事 福島縣平町町五九
兼編輯及 鈴木禎亮
印刷所 株式會社平活版所
印刷所 福島縣平町町五九
發行所 磐陽商業新報社

<p>白米麥</p> <p>上同 五五〇〇 中同 四三〇〇 下同 三二〇〇</p>	<p>石炭</p> <p>塊炭 五五〇〇 同中 四三〇〇 同下 三二〇〇</p>	<p>木炭</p> <p>表 四〇〇〇 裏 三〇〇〇</p>	<p>吳服</p> <p>同割 七〇〇〇 同割 六〇〇〇</p>	<p>野菜</p> <p>白菜 七〇〇〇 大根 六〇〇〇 葱 五〇〇〇 人参 四〇〇〇</p>	<p>紙類</p> <p>機械半紙上等 四〇〇〇 全中等 三〇〇〇 全下等 二〇〇〇 洋半紙上等 三〇〇〇 全中等 二〇〇〇 全下等 一〇〇〇 樟子紙上等 一〇〇〇 全中等 八〇〇〇 全下等 六〇〇〇</p>	<p>茶</p> <p>本場上 三〇〇〇 全中 二〇〇〇 全下 一〇〇〇 其他三圓より七圓迄</p>
--	---	---	---	--	---	---

人氣の焦点

大塚支店の靴

一、現代式の新しい味の形
一、實用本位と製産多量
一、破天荒の大安賣

大塚支店 製靴部
運動具部

電話七〇二番

琴、三味線製造販賣
並ニ諸器類附屬品一式

緑川三味線店

平町驛前通り

期節向新柄
價格いろく豊富

三井吳服店

平町三丁目
電話三八番

リモ歯科医院

院長 森合芳男

町本町田植

創業二十週年記念謝恩大賣出し

◎二月二十二日迄

豚肉 百目二付 金二十五錢
豚肉 中 金二十五錢
豚肉 小 金二十五錢
牛肉 百目二付 金二十五錢
牛肉 中 金二十五錢
牛肉 小 金二十五錢
牛肉 上 金二十五錢
牛肉 中 金二十五錢
牛肉 小 金二十五錢
牛肉 上ヒ 金二十五錢
牛肉 中ヒ 金二十五錢
牛肉 小ヒ 金二十五錢

廉賣王の深谷牛豚肉店

平町停車場前通り平劇場入口(電五二四)

本社は政黨政派の背景なきため廣告主に期待を受く

人氣商店訪問記

平町二丁目 清光堂書店

嚴君米三郎氏は平町會議員... 清光堂書店の発展に盡す時代... 嚴君米三郎氏は平町會議員... 清光堂書店の発展に盡す時代... 嚴君米三郎氏は平町會議員...

三井吳服店 店主柏原幸次郎氏... 平町三丁目三井吳服店... 店主柏原幸次郎氏... 平町三丁目三井吳服店...

文藝欄

小曲 曉月子... 髪の匂ひが戀しくて... 小曲 曉月子... 髪の匂ひが戀しくて...

指輪

御身を戀ふ微しなりとて... 指輪の紅は向うせぬども... 御身を戀ふ微しなりとて... 指輪の紅は向うせぬども...

長詩

おもひ 日村 M子... きみのやさしき面影を... 長詩 日村 M子... きみのやさしき面影を...

寄稿歓迎

紙上休憩室... 甲「オイ俺の叔母が俺の誕... 寄稿歓迎 紙上休憩室... 甲「オイ俺の叔母が俺の誕...

一人一言集

妻は若い男に取つては戀... 夫は若くは思つて他の者... 一人一言集 妻は若い男に取つては戀...

甲「ウン、イヤ一寸待つて... 呉れ俺の夢物語を終りま... 甲「ウン、イヤ一寸待つて... 呉れ俺の夢物語を終りま...

福島縣平町六六 乘合 貨切 芹澤自動車部... 電話 八四一七番

煙草、砂糖、鹽、荒物雜貨... 米穀商吉田卯三郎商店... 電話 八四一七番

各種自動車... 平サービステーション... 電話 六二二番

鑄 鋳 筆 刻 諸印刻方圓堂... 都甲正三 平町二丁目

平活版所... 電話三〇二番

米雜穀 布袋屋 伊藤隆次商店... 電話 三〇二番

世界的萬年瓦... 萬年瓦工業株式會社... 社長 江口忠一

惠比壽屋商店... 福島縣平町南町六十番地... 電話 六六四番

書肆 清光堂本店... 平町二丁目九番地... 電話 四一三番

明雲堂眼科醫院... 平町停車場前... 電話 六六九番

磐城無盡商會... 會長 小宅嘉久治... 電話 三二九番

治釜清商塵... 福島縣石城郡平町白銀町... 電話 三二九番

動かざる永遠の理想

「理想」獲得よ。確固不動の刹那の生命、それがたゞかり所を發見せよ、これがとへ苦しみと名づけられる、此處に私が現代の青年に向つて叫ばんとする最後の目的である。

「理想」とは何ぞや、據り所利那を愛惜する人五十年の生命を愛し、これを最も意義深く育てあげようとの、熱情ある人のみ、幾億萬年を通じて滅することのない佛の實在を疑ひ、靈魂不滅の思想を嘲笑する點にある。

一切の虚飾を去り、一切の懦弱を去れ肉體を飾る人とする前に先づ心を淨めよ、物質に貪きを啣つ前に我が胸に問ふて心の當り程度を顧みよ、そこに、神とそしる愛とは示現される。

「神を見よ、佛を見よ、そ

「理想」獲得よ。確固不動の刹那の生命、それがたゞかり所を發見せよ、これがとへ苦しみと名づけられる、此處に私が現代の青年に向つて叫ばんとする最後の目的である。

「理想」とは何ぞや、據り所利那を愛惜する人五十年の生命を愛し、これを最も意義深く育てあげようとの、熱情ある人のみ、幾億萬年を通じて滅することのない佛の實在を疑ひ、靈魂不滅の思想を嘲笑する點にある。

第一回 卓球協技大會

福島縣下

一、日時昭和三年二月廿六日～第四日午前八時より

二、會場平町元郡會議事堂

三、參加資格男女職業を問はず幾チーム參加するも差支なし(但一チームを五名と定む)

四、會費一切なし、參加者に記念品を呈す

五、申込期日昭和三年二月廿三日最終便

六、申込所平町大塚運動具店內平卓球協會宛

七、試合方法 各チーム對抗戦とし「トーナメント」式に依り最後に残りたるチームを以て優勝チームと定む。

八、優勝チームには優勝カップを授與し保持期間を次回迄とし三回連続優勝チームに贈呈す

主催 平町卓球協會
後援 河新報社
同 大塚運動具店

清純の質 鮮麗の色
萬年筆用 ライトインキ
國產文具の權威
地球印鉛筆

學用品文具問屋

魁文堂

代理店

平町字搦搦小路五
電話三三三三
振替仙台三〇六九

昭和三年二月中出版
郷土社編纂

現 磐城平町案内

(一般頒布費一冊十錢)

一、平町地圖、其他公園寫真入
二、「平町要覽」抄
三、平歴史、地理、風物、偉人紀要
四、石城郡名所道しるべ
五、平町有名事業及商店案内
平町白銀町十一番地

至急申込を乞ふ
二百部以上購入の方には、裏表紙半段に御隨意の廣告を特載します

郷土社

銘 酒 妻

石城郡植田町

古川酒造店

石城郡平町南町

萩原齒科醫院

院長 萩原義雄
電話二五九番

新刊書籍文具房
速迅は次取書圖刊新
るいろいろのンパカ生學他のそ

店書モトルマ

番四三二話電日丁四町平

着尺 尺着
尺尺 尺模
ルナ フナ
ンリス モ様
仙銘 様

屋田龜

目丁三町平
七五電

日英米佛獨專賣特許

女王醬油

福島縣平町
ヤマト醬油株式會社
電話七四一番

茶 卸 小 賣

小 辰 次 郎

九五町南町平

磐城セメント特約
和洋金物問屋
平町 電話長九番
電話一三九番

金屋商店

御用命の際は(電四一一)へ多少遠近に拘はらず迅速に配達致します

和 志 和 醬 油

平町外平窪(電話四一一番)
醸造元 草野屋本店